

## 平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成22年1月12日

上場取引所 東大

上場会社名 エスフーズ株式会社

コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 真之助

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営管理本部長

(氏名) 富沢 進

TEL 0798-43-1065

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	87,988		4,088		4,198		1,695	
21年2月期第3四半期	87,081	3.7	3,390	22.9	3,431	15.3	1,346	4.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年2月期第3四半期	56.77	
21年2月期第3四半期	41.78	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年2月期第3四半期	56,117	31,653	50.7	1,015.76
21年2月期	50,721	33,069	59.1	930.42

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 28,452百万円 21年2月期 29,973百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年2月期		11.00		11.00	22.00
22年2月期		11.00			
22年2月期(予想)				11.00	22.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	123,000	4.7	5,200	1.5	5,200	1.4	2,200	1.7	74.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第3四半期	32,267,721株	21年2月期	32,267,721株
期末自己株式数	22年2月期第3四半期	4,256,725株	21年2月期	53,050株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第3四半期	29,860,322株	21年2月期第3四半期	32,219,939株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想の1株当たり当期純利益については、自己株式数の変動に伴う調整計算値としております。その他業績予想については、平成21年4月14日に発表いたしました数値に変更はございません。

2. 連結業績予想に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって上記予想とは異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、円高の進行により、回復の兆しが見えかけていた輸出関連企業の業績に暗い影が差しかかり、内需に関しても、先行きの不透明感からデフレスパイラルの進行を止める力が不足したままの状況で推移いたしました。

当食肉業界におきましても、食品業界全般の流れと軌を一にして、消費の伸び悩みにより販売価格が下げ止まらず、全般的に盛り上がり欠ける状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは消費者の皆さまに安心して召し上がっていただける食肉食品を安定的にお届けすることが、我々の最大の社会的使命であると信じ、事業活動を行って参りました。

食肉の[卸売事業]においては、価格訴求力のある商品構成により販売数量及び利益の確保に努めました。[製品事業]においては、昨年からの発売を再開した「こてっちゃん牛もつ鍋」が、鍋物ブームに乗って好調に推移しました。[小売・外食事業]においては、深刻な経営環境においても堅実に営業活動を続けることを運営の優先課題といたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高879億8千8百万円、営業利益40億8千8百万円、経常利益41億9千8百万円、四半期純利益16億9千5百万円となりました。

事業別の売上高は、[卸売事業]が452億2千4百万円、[製品事業]が237億4千6百万円、[小売・外食事業]が189億7百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は、「日本」は売上高857億2千6百万円、営業利益37億8千9百万円、また「アメリカ合衆国」は売上高28億5千7百万円、営業利益3億8百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて53億9千6百万円増加し、561億1千7百万円となりました。これは主に、新規子会社として九州相模ハム株式会社を連結したこと、営業活動によるキャッシュ・フロー収入などで預金が増加したこと、年末の需要期を迎え、たな卸資産が増加したこと、新関東ミートセンター（仮称）建設予定地の土地を取得したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて68億1千1百万円増加し、244億6千3百万円となりました。これは主に、新規子会社として九州相模ハム株式会社を連結したこと、年末の需要期を迎え、支払手形及び買掛金が増加したこと、社債及び長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて14億1千5百万円減少し、316億5千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加（合計14億6千3百万円）に対し、自己株式取得による減少29億4千2百万円が上回ったことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは20億2千6百万円の収入で、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益35億9千3百万円、減価償却費8億7千万円、のれん償却額4億7千6百万円、減損損失4億2千2百万円、及び仕入債務の増加8億1千4百万円であります。一方、主な減少要因はたな卸資産の増加20億8百万円及び法人税等の支払額26億5千7百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは26億8千3百万円の支出で、支出の主なもの是有形固定資産の取得による支出20億4千3百万円及び短期貸付けによる支出6億円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは14億9千1百万円の収入で、主な増加要因は長期借入れによる収入44億4百万円及び社債の発行による収入15億円であります。主な減少要因は自己株式の取得による支出29億4千2百万円及び配当金の支払額6億5千7百万円であります。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より8億3千1百万円増加し、94億2千2百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通り推移しておりますので、昨年4月14日発表の業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法または低価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が62,480千円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,418,009	9,281,913
受取手形及び売掛金	11,199,014	10,953,304
有価証券	—	77,936
たな卸資産	—	6,195,979
商品及び製品	6,339,657	—
仕掛品	1,378,749	—
原材料及び貯蔵品	694,440	—
その他	1,387,059	1,095,508
貸倒引当金	△157,929	△158,539
流動資産合計	31,259,000	27,446,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,160,719	12,950,942
減価償却累計額	△8,411,388	△7,352,607
建物及び構築物（純額）	5,749,331	5,598,334
土地	7,725,887	6,222,901
その他	11,498,290	10,746,513
減価償却累計額	△9,292,858	△8,739,482
その他（純額）	2,205,431	2,007,031
減損損失累計額	△881,069	△633,186
有形固定資産合計	14,799,581	13,195,080
無形固定資産		
のれん	1,115,400	1,591,429
その他	161,262	157,255
無形固定資産合計	1,276,663	1,748,684
投資その他の資産		
投資有価証券	4,985,377	4,527,535
その他	4,096,635	4,091,281
貸倒引当金	△299,945	△287,605
投資その他の資産合計	8,782,067	8,331,212
固定資産合計	24,858,313	23,274,977
資産合計	56,117,314	50,721,080

（単位：千円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,431,802	7,373,115
短期借入金	3,168,450	3,145,000
未払法人税等	642,881	1,427,695
賞与引当金	883,611	519,945
その他	3,271,345	2,539,763
流動負債合計	16,398,091	15,005,520
固定負債		
社債	1,200,000	34,000
長期借入金	4,458,206	651,270
退職給付引当金	568,867	481,659
役員退職慰労引当金	346,798	332,870
その他	1,491,497	1,146,591
固定負債合計	8,065,370	2,646,391
負債合計	24,463,462	17,651,911
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298,354	4,298,354
資本剰余金	11,952,550	11,952,550
利益剰余金	16,542,484	15,509,880
自己株式	△2,983,777	△40,874
株主資本合計	29,809,611	31,719,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,038,584	△1,469,248
繰延ヘッジ損益	△29,487	△1,358
為替換算調整勘定	△288,986	△276,236
評価・換算差額等合計	△1,357,058	△1,746,843
少数株主持分	3,201,298	3,096,101
純資産合計	31,653,851	33,069,168
負債純資産合計	56,117,314	50,721,080

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
売上高	87,988,594
売上原価	70,628,119
売上総利益	17,360,475
販売費及び一般管理費	13,271,923
営業利益	4,088,551
営業外収益	
受取利息	13,077
受取配当金	43,968
負ののれん償却額	38,699
その他	206,394
営業外収益合計	302,140
営業外費用	
支払利息	72,957
その他	119,678
営業外費用合計	192,635
経常利益	4,198,056
特別利益	
貸倒引当金戻入額	36,590
その他	31,600
特別利益合計	68,190
特別損失	
固定資産処分損	42,318
投資有価証券売却損	40,473
投資有価証券評価損	126,811
減損損失	422,549
店舗閉鎖損失	24,424
その他	16,421
特別損失合計	672,997
税金等調整前四半期純利益	3,593,248
法人税等	1,727,148
少数株主利益	171,007
四半期純利益	1,695,092

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
売上高	28,918,855
売上原価	23,239,533
売上総利益	5,679,321
販売費及び一般管理費	4,525,104
営業利益	1,154,217
営業外収益	
受取利息	4,004
受取配当金	1,082
負ののれん償却額	14,397
その他	58,055
営業外収益合計	77,540
営業外費用	
支払利息	28,339
有価証券償還損	12,604
その他	13,603
営業外費用合計	54,547
経常利益	1,177,209
特別利益	
貸倒引当金戻入額	4,008
その他	6,440
特別利益合計	10,448
特別損失	
固定資産処分損	4,810
投資有価証券売却損	36,957
投資有価証券評価損	126,811
その他	11,460
特別損失合計	180,039
税金等調整前四半期純利益	1,007,618
法人税等	483,747
少数株主利益	54,412
四半期純利益	469,459

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	3,593,248
減価償却費	870,101
減損損失	422,549
のれん償却額	476,028
負ののれん償却額	△38,699
投資有価証券評価損益（△は益）	126,811
賞与引当金の増減額（△は減少）	343,287
受取利息及び受取配当金	△57,046
売上債権の増減額（△は増加）	230,926
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,008,867
仕入債務の増減額（△は減少）	814,753
その他	△74,904
小計	4,698,190
利息及び配当金の受取額	52,707
利息の支払額	△66,717
法人税等の支払額	△2,657,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,026,189
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,043,729
無形固定資産の取得による支出	△35,676
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	296,239
短期貸付けによる支出	△600,000
その他	△300,307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,683,473
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△256,070
長期借入れによる収入	4,404,900
長期借入金の返済による支出	△394,522
社債の発行による収入	1,500,000
自己株式の取得による支出	△2,942,902
配当金の支払額	△657,902
少数株主への配当金の支払額	△65,687
その他	△96,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,491,645
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,729
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	831,632
現金及び現金同等物の期首残高	8,590,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,422,572

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

当社企業グループは主として肉製品及び生肉加工品の製造、販売ならびに生肉の販売という区分に属する事業を行っており、また、市場及び販売方法等についても類似しております。

また、その他の事業については金額が少額のため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	28,191,998	726,856	28,918,855	—	28,918,855
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,705	161,852	173,558	(173,558)	—
計	28,203,704	888,709	29,092,413	(173,558)	28,918,855
営業利益	1,111,921	54,127	1,166,049	(11,832)	1,154,217

当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	85,699,316	2,289,277	87,988,594	—	87,988,594
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,248	568,211	595,460	(595,460)	—
計	85,726,565	2,857,488	88,584,054	(595,460)	87,988,594
営業利益	3,789,688	308,820	4,098,509	(9,957)	4,088,551

(注) 会計処理基準に関する事項の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法または低価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業利益が62,480千円減少しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月1日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、平成21年6月2日から平成21年6月29日までの期間に自己株式4,200,000株を取得いたしました。これにより、自己株式が2,940,000千円増加しております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間（平成20年3月1日～11月30日）

科 目	前年同四半期 (平成21年2月期第3四半期)
	金額（千円）
I 売上高	87,081,951
II 売上原価	70,428,415
売上総利益	16,653,535
III 販売費及び一般管理費	13,262,746
営業利益	3,390,789
IV 営業外収益	
1 受取利息	29,990
2 受取配当金	71,905
3 その他	214,062
営業外収益合計	315,958
V 営業外費用	
1 支払利息	41,755
2 その他	233,523
営業外費用合計	275,278
経常利益	3,431,469
VI 特別利益	
1 貸倒引当金戻入益	45,594
2 賞与引当金戻入益	21,776
3 その他	8,920
特別利益合計	76,290
VII 特別損失	
1 固定資産処分損	43,208
2 減損損失	216,288
3 投資有価証券売却損	422,365
4 その他	123,282
特別損失合計	805,144
税金等調整前四半期純利益	2,702,615
税金費用	1,355,117
少数株主利益	1,379
四半期純利益	1,346,118

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間（平成20年3月1日～11月30日）

	前年同四半期 (平成21年2月期第3四半期)
区分	金額（千円）
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 税金等調整前四半期純利益	2,702,615
2 減価償却費	867,717
3 減損損失	216,288
4 のれん償却額	919,108
5 負ののれん償却額	△ 7,644
6 賞与引当金増減額	393,516
7 退職給付引当金の増減額（減少は△）	8,494
8 受取利息及び受取配当金	△ 101,896
9 投資有価証券売却損益	422,365
10 売上債権の増減額（増加は△）	△ 2,087,874
11 たな卸資産の増減額（増加は△）	△ 2,536,473
12 仕入債務の増減額（減少は△）	2,172,531
13 その他	885,196
小計	3,853,944
14 利息及び配当金の受取額	102,419
15 利息の支払額	△ 43,166
16 法人税等の支払額	△ 1,773,106
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,140,091
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 有形固定資産の取得による支出	△ 814,125
2 無形固定資産の取得による支出	△ 622,812
3 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 18,869
4 その他	△ 666,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,122,592
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 短期借入金の純増減額（減少は△）	1,764,229
2 長期借入金の借入による収入	300,000
3 長期借入金の返済による支出	△ 552,935
4 配当金の支払額	△ 672,367
5 少数株主への配当金の支払額	△ 69,364
6 その他	△ 75,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	693,967
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△ 36,162
<b>V 現金及び現金同等物の増減額（減少は△）</b>	675,303
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	5,702,870
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	6,378,173

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成20年3月1日～11月30日）

当社企業グループは主として肉製品及び生肉加工品の製造、販売ならびに生肉の販売という区分に属する事業を行っており、また、市場及び販売方法等についても類似しております。

また、その他の事業については金額が少額のため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成20年3月1日～11月30日）

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	85,308,804	1,773,146	87,081,951	—	87,081,951
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,388	618,842	683,230	(683,230)	—
計	85,373,193	2,391,989	87,765,182	(683,230)	87,081,951
営業利益	3,152,057	250,021	3,402,078	(11,289)	3,390,789

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（平成20年3月1日～11月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。